

# 千光寺公園が 恋人の聖地に

## 尾道市デートコース設定へ

尾道で愛を語り合いませんか。尾道市の千光寺公園がNPO法人地域活性化支援センター（静岡市）から「恋人の聖地」に選ばれた。瀬戸内海の島々を一望しながら、ロマンチックな雰囲気の中でデートを楽しめるのが魅力で、選定を機に、市は公園を起点にして市内全域にデートプランコースを設定。全国の若者が集えるスポットづくりを目指す。

（大野正昭）

選定活動は、このNPO法人が06年4月から取り組んでおり、若い人たちの交流の場を全国発信している。各地を代表する観光地や施設を自治体や観光協会などの申請に基づいて100カ所選ぶ計画だ。360度の眺望が楽しめる東京の六本木ヒルズ展望台、瀬戸大橋に近い香川県宇

多津町のうたづ臨海公園、ライトアップされる静岡県熱海市の熱海サンビーチなどがすでに選定されている。

千光寺公園は広さ約11畝。ソメイヨシノを中心に1521本の桜(昨年12月末現在)が植えられている。年間約38万人が訪れ、散策する若い男女の姿も多い。千光寺公園の選

定で聖地は74カ所になった。

NPO法人から「恋人の聖地」と刻まれたプレートが届くのを待って、市観光課は千光寺公園内の「出会いの広場」に設置する。選定を記念して、14日の聖バルンタインデーには出会いの広場で午前中、ミス尾道がバルンタインチョコレートを観光客に配る。午後は千光寺山ロープウェイ山麓駅と公園内の駐車場でも係員が配る。

14日から1カ月間、同公園にある売店やレストランなどで一部商品の割り引きをするほか、市商店街連合会女性部会会員の38店舗で、各店自慢の商品を詰めた「龍の玉手箱」を購入すればバルンタインチョコレートをプレゼントされる。

一方、市が整備を始めるデートプランコースは、しまなみ海道沿線を含め市内全域に設定する。コース選びを進めており、ホームページなどで紹介する。

女性部会長の木織雅子さんは「独自にデートコース地図などをつくり、この春から店先に並べてまちの活性化につなげたい」と話している。

「恋人の聖地」に選定された千光寺公園。右下の桜の木付近にプレートが設置される＝尾道市東土堂町

